

健康保険組合の役割と 制度改革への要望

2025/8/28

日本航空健康保険組合

日本航空健康保険組合の紹介



日本航空健康保険組合(JAL健保)

(2025年4月1日現在)

| | |
|-------|-------------------------------|
| 理事長 | 岡 敏樹 |
| 常務理事 | 浦井 典子 |
| 所在地 | 東京都大田区羽田空港3-6-8 第一テクニカルセンター7F |
| 健保設立 | 1955年1月1日 |
| 加入事業所 | 60 |
| 被保険者数 | 46,899人 |
| 被扶養者数 | 24,237人 |

健康保険組合の役割

健保組合の2つの役割と保健事業

1. 加入者への保険給付
2. 加入者の健康保持・増進：「保健事業」

(1) 目的

- ① 加入者のウェルビーイング向上
- ② 医療費の抑制

(2) 例

- ・ 健康診断の実施
- ・ 予防接種
- ・ 医療機関受診勧奨
- ・ 禁煙支援・ダイエット支援
- ・ 体力・健康づくりの奨励



保健事業における健保組合の優位性

健保組合は、以下の理由により、保健事業の実行に優位な立場にある

- ・ 健保組合は、企業と社員によって組織される（健康保険法第八条）
- ・ 職域という緊密な集団の中で実施
- ・ 企業が行う事業主健康診断・健康増進活動との相乗効果
- ・ 社員や仕事の特徴に合わせた取り組みが可能



企業と健保組合の「コラボヘルス」で保健事業を実行できる

JALにおけるコラボヘルス「JAL Wellness」

JAL Wellness

JALグループ企業理念の実現のためには「心身の健康づくり」が不可欠との認識のもと、社員、会社、健保が一体となって健康づくりに取り組みます。



健保組合の保健事業は、国をリード

健保組合がリードして導入し、国に広がった健康増進施策

- データに基づいた健康増進事業（データヘルス計画）
- ジェネリック医薬品の活用
- 婦人科健診の受診率向上
- (今後) 女性の痩せを防止する取り組み



**日本の健康寿命の延伸・医療費の抑制に、
健保組合が貢献**

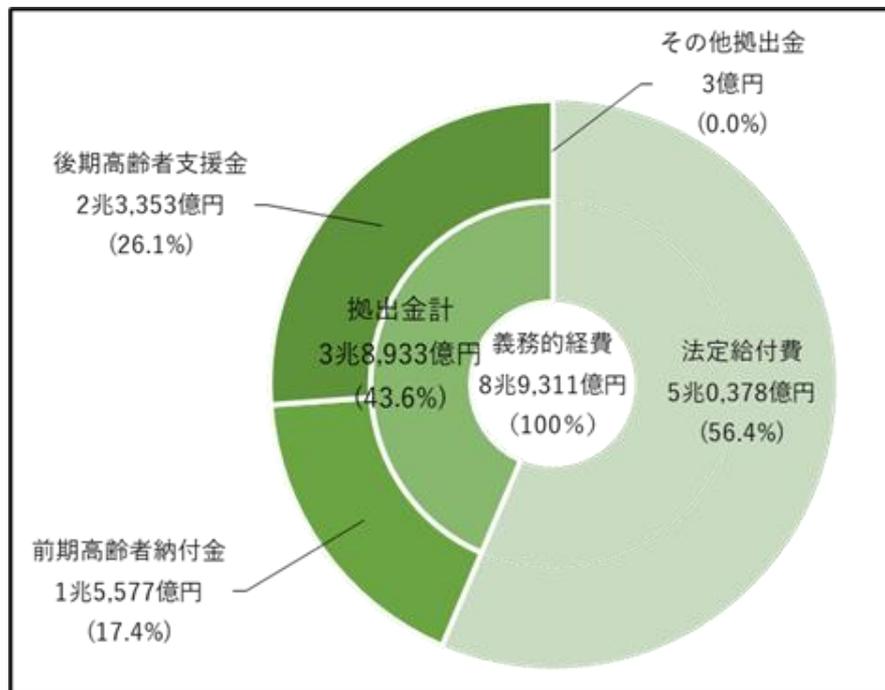


健保組合の抱える問題

高齢化・医療費高騰を背景とした健保財政の悪化

- 8割の健保が赤字
- 主な原因は、高齢者拠出金の増加
- 健保組合の共通の声は、高齢者拠出金を減らしてほしいというもの
 - 理由1) 財政負担を減らしたい
 - 理由2) 高齢者拠出金が健康保険料と一緒に徴収されることのわかりにくさ
 - 「社会保険料は高い」という不満、健康保険制度に対する不安・不信

健康保険組合の義務的経費に占める法定給付費の割合
※令和7年度予算早期集計（7年4月） 健康保険組合連合会調べ



高齢化・医療費高騰にどう対応するか、あらためて根本的議論が必要

まとめ：

制度改革への要望・意見

- 高額療養費制度は、現役世代にとっても、**重要なセーフティネット**
- しかし、現役世代の保険料負担が限界にある中で、医療保険制度を維持していくためには、**負担と給付の全体の見直しを行うことは避けられない**
- どのように見直すことが、**長期療養している方々の負担への影響を最小限に抑え、かつ国民全体の納得感も得られるか**
当委員会での議論を期待します
- 同時に、医療保険制度を維持していくために、**現役世代の保険料負担の抑制・軽減を図るための制度改革**に早急に取り組み、また**現役世代に納得してもらうための説明**に力を入れていただきたい

ご清聴ありがとうございました